



08 薬学部 (定員80人) の英語教育に関する取組 (令和7年度)

就職活動
就職

TOEIC (L&R) 700点/800点以上取得を指導

大学院入試
進学

大学院入試では、外部検定試験(TOEIC,TOEFL,IELTSのいずれか)のスコアを合否判定のための資料とする場合がある。

外部検定試験受験を博士前期課程、博士後期課程の出願資格としている。
英語能力の向上への対策として、大学院入学試験においての出願資格、さらに博士前期課程では得点化を行うこととしている。

4
3
年次生

英語で学ぶ専門科目

英語で学ぶ薬学研究 (2単位)

各研究室ごとに、薬学に関する英語論文を講読する。

4
3
年次生

英語で学ぶ専門科目

英語で学ぶ薬学研究 (2単位)

各研究室ごとに、薬学に関する英語論文を講読する。

3
年次生

必修

高年次英語 (1単位)

3
年次生

必修

高年次英語 (1単位)

2年生必修
英語科目

「アカデミック英語 (プレゼンテーション)」 「アカデミック英語 (ライティング)」 (各2単位)

各学生のレベルに応じて学術目的の英語を養成：Accuracyを重視して、英語によるプレゼンテーションができ、英文のリサーチペーパーが書ける力を身に付けます。

選択 海外研修プログラム (2単位)

選択 海外研修プログラム (2単位)

1年生必修
英語科目

「コミュニケーション英語 (S&L)」 「コミュニケーション英語 (R&W)」 (各2単位)

各学生のレベルに応じて一般教養の英語を養成：Fluencyを重視して、英語によるコミュニケーション力を高めます。

薬学<6年制>
40人

創薬科学<4年制>
40人

●薬学部の英語学習の目標

卒業研究では、論文の読解や執筆において英語力が必要となります。また、将来の進路となる大学や研究所などの研究機関、製薬企業、病院や薬局などの医療機関では、英語の4技能「読む」「書く」「聞く」「話す」全てが求められ、外国人と英語で円滑にコミュニケーションをとれる力も必要です。将来を見据えて総合的な英語力を伸ばすとともに、生涯にわたって英語を学び続ける姿勢を身につけることが期待されます。

●薬学部の英語学習の特徴

低学年次では、欧米やアジアの大学・研究機関へ短期訪問し、そこで開講されている英語での講義の聴講や、異文化交流を通して、国際的な視座で薬学を学ぶ機会があります。高学年次では、研究室における卒業研究を通して、教員から専門的なアカデミック英語の読解・執筆・発表を学びます。

キャリアパス英語

SPACE英語